



三流は人の話を聞かない。

二流は人の話を聞く。

一流は人の話を聞いて実行する。

超一流は人の話を聞いて工夫する。



【6月に日本将棋連盟会長に就任予定の羽生善治さんの言葉】

「三流は人の話を聞かない」と言うのは成長する見込みのない人のことです。何故なら我流だからです。我流はある程度で終わりです。スポーツの世界なら、アマで終わりです。

「二流は人の話しを聞く」とありますが、聞いてもやってみない人はそれまでです。何事もやらずしてわかるわけがないのです。ある意味、三流より駄目かもしれません。三流は我流でも色々と試みますので、チャレンジしない二流よりは良いはずです。

「一流は人の話しを聞いて実行する」これでなければ実力は上がりません。聞きすぎるほど聞いて実行する。とにかく言われたことを愚直と言われるほどそのままに実行することです。

最後の「超一流は聞いて工夫する」とありますが、これは、聞いて自分の考えと比較し、自分で工夫してやることです。そして新たな自分の世界を創ることです。

ここまで読んで???と思った人はいませんか??三流と超一流??「我流」と「自分の世界」は、紙一重のように思いませんか。私は、この少しの差は、「根拠」があるかないかのように感じています。「根拠」のある我流（三流）は、超一流になる可能性を秘めているように思いませんか。自分の世界をもっている超一流には、「根拠」があります。

羽生善治さんは三流から超一流までを言っていますが、これは人が成長する段階を言っているのだと思います。最初は人の話しなんか聞かずに自分の世界でやってみる。とんでもないしっぺ返しに遭う。それで人の話しを聞くようにするが聞くだけでやらない。進歩がない。とりあえず、聞いてやってみる。なんとなく良いような気がする。もっとやってみる。やはり、先輩や先生からのアドバイスは良いということが判る。その内に先輩の言っていたこと以外にこんなこともやってみようやってみる。なんか良い。もっと自分の工夫を取り入れてやってみる。段々と自分の世界ができてくる。自分の世界っていろんな人との対話によってつくられていくのです。羽生さんも多くの棋士との対局によって超一流になったのだと思います。「超一流の体育祭」を成功させた詫中生が目指すは、やはり超一流ですよね。しっかりと家族や先生、友達と対話をし、自分なりの工夫をはじめていって下さい。きっと今の自分よりも成長することができます。みんなの周りには、超一流がたくさんいます。